

三条教区通信

第 44 号

発行日 2011年2月1日
 発行者 三条教務所長 鷺尾 幸雄
 発行所 真宗大谷派三条教務所
 〒955-0071 三条市本町 2-1-57
 変更⇒ E-mail: sanjo@higashihonganji.or.jp
 URL: <http://www.gobosama.net>
 ★本通信は上記 URL からご覧いただけます。

今月の法語

〔法語カレンダーより〕

遇いがたくして
 いま
 遇うことを得たり

【教行信証総序】

研修会等ご案内

■教学研修会

開催案内同封

- ◆期 日 2011年3月1日(火)～2日(水)
- ◆会 場 教区同朋会館
- ◆講 師 三木彰円 氏(大谷大学准教授)
- ◆問合せ 三条教務所(担当:森)まで

■「差別と真宗」基礎講座

開催案内同封

- ◆期 日 2011年3月3日(木)
- ◆会 場 柏崎市産業文化会館第二会議室
- ◆講 師 中島 義紘 氏
(願興寺衆徒・元県立高校教諭当部門スタッフ)
- ◆講 題 「真宗門徒と部落問題」
- ◆その他 当研修会は、教師陞補に必要な、受講書が発行される研修会です。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀・北島)まで。
〔主催:「差別と真宗」共学研修会部門〕

■住職研修会

開催案内同封

- ◆期 日 2011年3月9日(水)
- ◆会 場 三条教区同朋会館
- ◆講 師 菅原 伸郎 氏
(東京医療保健大学教授、元朝日新聞宗教・学芸記者)
- ◆講 題 「智慧・慈悲・方便」

一大谷派だからできること

- ◆その他 当研修会は、教師陞補に必要な、受講証が発行される研修会です。
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌委員会同朋会運動推進部会

■若手寺族研修会

開催案内後日

- ◆期 日 2011年4月13日(水)～14日(木)
- ◆会 場 13日:第21組浄泉寺 14日:第13組善行寺
- ◆講 師 武田 定光 氏(東京教区因速寺住職)
- ◆内 容 『宗祖親鸞聖人5章・6章』をテキストとした講義及び座談。
- ◆問合せ 三条教務所(担当:史陀)まで。
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌委員会同朋会運動推進部会

宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌

■御遠忌讃仰教区の日

開催案内同封

- ◆期 日 2011年3月31日(水)
- ◆会 場 真宗本廟・涉成園
- ◆内 容 田んぼアート米・清酒 進納お練り
田んぼアート米・清酒 採納式
震災時の炊き出しの振る舞い
災害シンポジウム
文弥人形(国・無形民俗文化財)の上演
雅楽ライブ
三条教区関係者の集い
- ◆主 催 三条教区宗祖親鸞聖人七百五十回御遠忌委員会

本山御遠忌法要団参について

明年3月上旬までに指定席券が本山から引率責任者へ送付されます。

2011年	
第一期法要	3月19日～3月28日

第二期法要	4月19日～4月28日
第三期法要	5月19日～5月28日
御正当報恩講	11月21日～11月28日

教務所別院主催御遠忌団参について

明年3月に出発する教務所別院主催の御遠忌団参について、募集期間を延長してさらに募集中です。

第1班：2011年3月20日(日)～3月22日(火)

■所要経費：お一人 57,000円(宴会費込)

■募集人数：40名(満員になり次第、締切らせて戴きます。)

■バス乗降箇所：(新潟駅南口・三条教務所・長岡 I.C・柏崎 IC)

第2班：2011年3月21日(月)～3月23日(水)

■所要経費：お一人 55,000円(宴会費込)

■募集人数：40名(満員になり次第、締切らせて戴きます。)

■バス乗降箇所：(新潟駅南口・三条教務所・長岡 I.C・柏崎 IC)

※お申し込みは、教務所まで。

本山御遠忌関連各種行事について

『真宗』誌9月号以後の号、『御遠忌ガイドブック』にて法要出仕や各種イベント案内が掲載されております。

教化委員会からのお知らせ

三条教区教化研修テーマについて

教化委員会企画委員会において、これまでの教区教化研修テーマ「共にといえる 人生を生きよう」について、教化委員会任期満了までの間、継続する運びとなりました。

教区教化委員会を中心に、このテーマについて考察を重ねて、次の教化委員会へ引き継ぐべく、【「共にといえる、人生を生きよう」に憶う】と題して、順番に執筆、毎月『教区通信』に掲載いたします。

第28回目は、研修部会委員の澤田祥子氏です。

「共にといえる、人生を生きよう」に憶う

第17組浄恩寺坊守 澤田祥子

昨年教区で、宗祖親鸞聖人750回御遠忌お待ち受け法要が厳修され、私も委員の一人として、又坊守として参加させていただきました。

慌ただしい年の瀬も終わり、新しい年に入りました。寒の入りを過ぎると、雪も積もり真冬らしい寒さが身にしみます。1月半ば前だと思いますが、まだ雪も5～6

cm位だったでしょうか、庭の隅に目をやると、高い木の下で真っ赤な実をつけたヤブコウジが数十本、まるで、

私達はここにいるよ

頑張って実をつけているよ

と言わんばかりに、雪の間から顔を出しているのです。小さくても一本の木、普段は草木に隠れて目だたないけれど、雪の中で枯れた草を押しつけて実をつけているヤブコウジ。弱々しうに見えるけど、とても力強さを感じます。数十本の力は、緑の葉、赤い実を生き生きと輝かせて、その存在をアピールするかのようです。私はこのヤブコウジが大好きなのです。何だか、親しみを覚えるのです。

人も同じように1人では目立たない生きものだと思います。大勢の中で生きているからこそ、人間なのだと思うのです。生きて何かを成し遂げようとするには、大勢の力が不可欠です。

役目から、寺の坊守として、今までの人生に無かった程、多くの研修会や会議に出席する機会が与えられました。私は今まで他の職業に勤務していた為、退職して24時間寺に居る生活を送るようになって6年目に入ります。様々な出来事もあり、生活の変化に戸惑うこともありましたが、この機会を得た多くの感動や経験が、これからの人生に少しでも役立てればと思っています。

多くの煩惱を持ち、自己中心的なそこに居る自分、自分というものを振り返ることの大切さ、仲間と共に生き、学ぶ事の大切さを少しばかりは学んだでしょうか。私の中では、まだまだです。

ヤブコウジを見ながら、私もこんなに力強く生きる事が出来るだろうか、まだまだ学ぶ事は沢山あるのだから、頑張らねば、でも、足腰の事を考えるとゆっくりと頑張ろう、と思う此の頃です。

※次回は研修部会委員の金井勝代氏(第12組専正寺)よりご執筆いただきます。

安居 報告

11組 西照寺 北原 致



去る12月7日と8日の二日間にわたり、教区同朋会館において、毎年恒例の秋安居が開催されました。講師は今年の夏安居の本講を務められた、親鸞仏教センター所長の本田弘之先生。講題は「根本言としての名号」でした。

「親鸞聖人が生きておられたら、お聞きしたいことがいっぱいある」と、先生ご自身が疑問に思っておられることをどんどん問題提起されながら、お話しを進めていかれるので、日頃、分かったようなつもりになって見過ごしてきたことを突きつけられて、身のすくむような思いを感じながらの聴講となりました。

行の巻を丁寧に尋ねていくと、とてもとても夏安居の二週間では時間が足りないし、ましてそれを二日間でお話することは到底できないということで、龍樹菩薩の引文の辺りまでお話しをしていただきましたが、本当に何年かけてでもお聞きしたいようなご講義でした。

その中でも特に印象深く、また先生も力を込めてお話しされたのは、後序にある「名の字を書かしたまひ畢りぬ」の「名の字」が「善信」なのか「親鸞」なのかという問題です。

従来の解釈は、師の法然上人につけてもらった名前は「善信」で、流罪以後、自ら「親鸞」と名乗られたのだというものでした。それに対して、本田先生は、法名は自ら名乗るようなものでないこと、『教行信証』の各巻に「愚禿釈親鸞」と名乗っておられることを考え合わせれば、「名の字」は「親鸞」であり、「善信」は坊号であるとされるのです。

これは単なる重箱の隅をつつくような学問沙汰の話ではなく、親鸞聖人がどういう方だったのかについての重要な問題提起なのでしょう。法然上人の恩徳に対する親鸞聖人の報謝の深さを思う時、師から賜った名を捨てて、自分で名前を名乗るなどとは、確かに考えにくいことでもあり、納得させられることでした。

地方へは減多に出られず、三条別院にも初めておいでになったということもあってか、会場はほぼ満席。用意された講本が全て売れ切れて、急遽追加注文してもらったほどでした。

「同朋の会提灯・上山旗」贈呈式の様子



三条教区御遠忌スローガン / 「おめさん そろっと参ろうて！ —私を新発見—」

昨年10月31日。第14組了元寺(長岡市長倉町)にて、了元寺同朋の会(代表:小泉惇磨住職)が結成されました。

第14組では、2007年度より2か年にわたり、教区指定推進員養成講座、「真宗門徒誕生講座」を開催し、新たに29名の推進員が誕生いたしました。それを受け、了元寺さんでは、推進員養成講座開催中より受講者の方々の「もっと法話を聞きたい」という声にこたえた形で、身近な方々と共に教話を聞いていく場を願い、同朋の会の結成をされました。

今回の発会式にいたっては、子ども報恩講と了元寺報恩講に合わせ開催され、子ども報恩講では、近所のお子さんたちが集まり、お勤めとおはなしが行われ、発会式を迎えるにあたって、和やかな雰囲気を作ってくれました。

その後、同朋唱和で報恩講のお勤めが勤まり、同じ14組の西楽寺前住職、春日順一氏より、ご講師の人柄あふれるご法話をいただきました。引き続き行われた了元寺同朋の会発会式では、小泉住職より発会に向けての力強い願いが語られました。

毎回感じさせられることですが、「ともに教話を聞き、場を共有するということは、御門徒さんとお寺の距離を近づけ、お寺とのご縁を強くするのだな。」と感じさせられました。

皆さんのお寺でも御遠忌を迎えるに当たり、是非ともこのような聞法の間、同朋の会の結成等なされますよう心から願っております。



◎同朋の会結成届けについて

寺院・教会や地域などで同朋の会が結成されましたら、結成届を教務所にご提出ください。届出の提出されました同朋の会には、「同朋の会提灯」や「同朋の会奉仕上山旗」が無償で贈呈されます。

(贈与は1回。提灯や上山旗には申請されました会の名称が入ります)また、「同朋会員結婚記念念珠」が無償で贈られます。詳しくは教務所(森・北島まで)

教務所からのお知らせ

ラジオ放送「東本願寺の時間」

○テーマ「今、いのちがあなたを生きている」

○講師（事情により変わる事があります）

☆1/9～2/19 佐藤義成 氏（長浜教区）

☆2/20～4/2 園村義成 氏（奥羽教区）

○放送局 新潟放送（BSN）

*新潟県全県をカバー

・小出エリア 1026KHz

・中越エリア 1062KHz

・下越エリア 1116KHz

・塩沢エリア 1485KHz

・上越エリア 1530KHz

○時間 毎週金曜日 5:00～5:10

○提供 吉運堂 様

◎ラジオ放送「東本願寺の時間」について

宗門が1951年11月よりラジオ伝道として取り組んできている「東本願寺の時間」について、吉運堂様のご提供により、新潟県でもお聞きになれます。

また、現在は、宗祖の御遠忌テーマ「今、いのちがあなたを生きている」を番組テーマとして様々な方より法話をいたしておりますが、現在、宗派のホームページである「しんらんしょうにんホームページ」

(<http://higashihonganji.jp/index.html>)にて、これまで放送された番組をお聴きいただくことができます。

是非、ご聴取ください。

◎教区他 主な行事予定一覧（1月23日現在）

日程は変更となる場合があります。諸行事の重複等を避けるうえで参考になるよう、なるべく把握している行事は掲載しております。

日	時	行事内容
2011年		
2月		
2/4	16:00	教学研修輪読会
2/7	14:00	参事会・教区改編委員会合同会議
2/9		～10 靖国交流学習会兼歴史講座
2/10		センター
2/16		同朋の会教導総会
2/17		センター
	14:00	声明会議
2/18	14:00	フォーラム会議

2/19	14:00	学院同窓会
2/21	14:00	19組推進員養成講座準備会議
2/22	14:00	夏の集い・仏青通信会議
2/24		センター 15組推進員養成講座事前会議
2/26		～27日真宗学院一泊研修 保育講習会
3月以降の予定		
3/1		～2日教学研究会(三木彰圓氏)
3/3		10組差別と真宗学習会
3/5		～6日15組推進員養成講座(別院)
3/9		住職研修会
3/11		～12 御遠忌オープニングの所長会
3/12		本山御遠忌オープニングイベント
3/19		～3/28 本山御遠忌第一期法要
3/29		～4/18 本山御遠忌御遠忌讃仰
3/31		御遠忌讃仰三条教区の日(於本山) 御依頼適正審議会委員・「差別と真宗」協議会員任期満了
4/1		～3 日本山春の法要
4/4		声明基本講習会
4/8	午後	15組別院清掃奉仕
4/13		～14日若手寺族研修会
4/19		～4/28 本山御遠忌第二期法要
4/29		～5/18 本山御遠忌御遠忌讃仰
5/19		～5/28 本山御遠忌第三期法要
6/4		保育大会・新任研修会 20組公開講座
6/13		15・16組育成員研修
6/30		教区教化委員・教区坊守会役員・教区御遠忌委員(所長選定)任期満了
9/30		査察委員任期満了
11/5		～8日三条別院報恩講
11/21		～28 日本山御正當報恩講
2012年 同朋会運動50周年		
3/31		教区門徒会員・教区監事(常任委員会選出)任期満了
4/30		参議会議員任期満了

駐在教導のつぶやき

～森之篇～

▼年末から、鬼さんが活躍（私の願望）

「来年の事を言えば鬼が笑う」

これからのことをいろいろ考えたり話したりしているときに、この言葉がよく頭の中に浮かんでくる。ただし、以前と比べると浮かんでくる「来年の事を言えば鬼が笑う」の鬼さんが現れる回数は少しずつ減って来ているが…ナンデカナ？

言葉の意味は、「明日のことさえわからないのに、来年のことなどとても予測できない」という意味(広辞苑)。である

これが、「鬼が笑う」だけで辞典を引いてみると、「実現性のないことや予想のつかないことを言ったときにからかうことば。「来年の事を言う」となり、少しニュアンスが違って受け止められる。もちろん「ことば」そのものは一語であってもいろいろな意味が込められているので私がこのことばに違いを感じるといっても、一語の中に込められている、多くの意味内容の一つに入るであろう。

▼「鬼さんの笑い顔が見えない」

仕事も私事も、予定と計画のオンパレードであり、その事柄に軽重を付け、さらに月割・週割・日割り・時間割をして当てはめていくということになってくる。今日の日常生活をおくっていく上では当然なことであると言えばそれまでではあるが…。

予定が思惑通りに進めば当たり前、予定(計画)外れはその大小において、想定内、想定外ということになる。そうなってくると早急に新たな予定(計画)の作成となってしまう、場合によってはその繰り返しとなる。つまり、そこには、笑う鬼さんを想い浮かべる余裕など無い、鬼さんの入る余地さえ無くなっている。

それでも「笑う鬼さんの顔が見たい」というのは無理なことなのかもしれない。いつも、鏡の前には怒った鬼さん、顰めっ面の鬼さん、焦った鬼さんetc(あまり良い鬼さんはいないなあ～)の顔しか見ていない気がする。

▼「ならば鬼さんとの共存を」

この時期、古から季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられ、それを追い払うための行事が巷で盛んに行われる。

恥ずかしながら最近知ったのであるが豆が撒かれるのは、豆は「魔滅」に通ずるから鬼にぶつけ邪気を追い払うとのこと。しかし、()が頭の天辺から足の爪先まで鬼化した状況では、そのような節分の行事はあくまでお祭りや割り切り、内なる鬼との共存を図りたいモノであります。

所員のささやき ~史陀之篇~

今回の所員ささやきは、私が担当させていただきます。

今現在、何をささやこうかと考えているところですが、普段から何も考えていないので、頭を捻ったところで何も出てきません。なので、この様に駄文で文字数を稼いでいるような体たらくです。

何か伝えたいことはないのか！心の底から湧き出てくるような叫びはないのか！などと、自問自答してみたり、しなかつたりしているうちに時間だけが、過ぎていく…嗚呼。

まあ、そんなことで、ここは自分から何も出てこなければ、他人の言葉を拝借しようと考えまして、「今、パッと思いついた言葉BEST3—2011年春—」のお題のもと、話しを進めたいと思います。

いきなりですが、まずは第3位からの発表です！！

「生きることを決意した者の美しさは、ただ生きる者を圧倒する」

これは、最近読んだ、某漫画に書かれていた言葉です。これまでの人生の中で、生きることを決意した瞬間はあったのだろうか、慮る私です。

つづいて第2位！！

「永久の未完成 これ完成である」

この言葉は、宮沢賢治の言葉で、多くの人が、完成されたものの美しさに目を奪われがちであるが、未完成だからその美しさがあるのではないか、という意味の言葉です。

私は、完成を目指し続ける不完全さこそ、完成された姿なのではないか、というように勝手に解釈している次第です。

ついに第1位の発表です！ここまでこの文書を読んでいる人はいるのかという不安がありますが、とにかく発表します。

「鶯の美しい声に、何の意味があろう？森へ行ってきいてみるがよい。何のためにお前達は鳴くのかと、何の役に立つのか、とな。美は、それを尋ねる者には、役に立たぬものなのだ」

これは、森博嗣の『笑わない数学者』という小説に出てくる言葉です。

つまり、この言葉の意味するところは、今回の所員のささやきに何の意味があり、何の役に立つのか？と考える方にとって、全くもってこの文書は、無意味であり、読むこと自体が、時間の無駄であるということなのです。でもそんな無駄な時間すら楽しめるような方々が、ここまでこの駄文を読んでいただいていると、私は今、確信しています。

鬼にも角にも、本年も精一杯 宗務に勤めてまいりますので、何卒よろしく願いいたします。

新潟親鸞学会からのお知らせ

【入会申し込み・お問い合わせ】

新潟親鸞学会事務局 / 超願寺内 (〒951-8061 新潟市中央区西堀通二番町 ☎025-222-2820)

新潟親鸞学会デスク：

<http://niigata-shinran.cocolog-nifty.com/blog/>